

(別紙(2)) 同じテーマの問題が似たような形式で出題されるケース (社債取引)

・平成 27 年度 第Ⅱ回短答式試験 財務会計論 問題 6

次の〔資料〕に基づいて、X2 年度(X2 年 4 月 1 日～X3 年 3 月 31 日)の損益計算書に計上される社債利息の金額として、正しい金額の番号を一つ選びなさい。なお、円未満の金額は四捨五入すること。(8 点)

〔資料〕

1. X1 年 4 月 1 日に、額面総額 1,000,000 円の社債を 100 円につき 95 円で発行した。
2. 社債の発行条件は、次のとおりである。
期間：5 年(ただし、X2 年 3 月 31 日以降、毎年度末に 200,000 円ずつ 5 回にわたり抽選償還する。)
約定利率：年 2 %
利払日：毎年 3 月末日
3. 償却原価法については、利息法による。
4. 実効利率は、年 3.82 %である。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 16,000 円 | 2. 16,290 円 | 3. 16,560 円 |
| 4. 29,032 円 | 5. 29,272 円 | 6. 30,560 円 |

・平成 28 年度 第Ⅰ回短答式試験 財務会計論 問題 6

次の〔資料〕に基づいて、X1 年度(X1 年 1 月 1 日～X1 年 12 月 31 日)の期末の貸借対照表に計上される社債の金額として、正しい金額の番号を一つ選びなさい。なお、利息法の適用にあたり、端数が生じる場合には、千円未満を四捨五入し、誤差は X3 年 12 月 31 日に調整するものとする。(8 点)

〔資料〕

1. X1 年 1 月 1 日に、以下の条件で普通社債を発行した。
額面総額：200,000 千円
払込金額：100 円につき 97.5 円
償還期限：X3 年 12 月 31 日
利払日：12 月末日
利 率：年 2 %
2. 社債の額面と発行価額との差額の会計処理は利息法による。なお、利息法を適用する際の実効利率は 2.88 %である。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 195,000 千円 | 2. 196,616 千円 | 3. 197,667 千円 |
| 4. 198,279 千円 | 5. 199,000 千円 | 6. 200,000 千円 |